

竹内街道・横大路（大道）1400年活性化プロジェクト通信（VOL.26）

いにしへの都「飛鳥」が幻想的な光に包まれます！！

竹内街道・横大路(大道)1400年祭 秋フェス 光のバトンタッチ「飛鳥光の回廊」

● 飛鳥光の回廊（奈良県明日香村）

9月14日(土)と15日(日)の二日間、いにしへの都「飛鳥」がろうそくの灯りに包まれます！！

奈良県明日香村では、期間中村内各地で光のオブジェを中心に様々なイベントが開催されます(石舞台古墳や飛鳥寺などの村内の各所と、それらをつなぐ道沿いに2万本のろうそくの灯りが揺れ、幻想的な景色が広がります)。音と光のイベント「おと飛鳥」や飛鳥寺建立を取り上げた劇団「時空」による公演、寺社・各施設のライトアップとともに石舞台古墳では古墳築造の様子をご覧いただける「バーチャル飛鳥京」などを開催します。そのほか奈良の味・明日香の味を楽しめるマルシェや古代衣装の無料体験もあります。期間中は村内施設が延長営業（無料）していますので、ゆっくりとお楽しみいただけます。



伝飛鳥板蓋宮跡



劇団「時空」

今年、難波から飛鳥へ向けてつくられた日本最古の官道である竹内街道が敷設されて1400年の節目の年であり、1400年活性化実行委員会を中心に沿線各市町村が様々なイベントを企画、実施しております。「飛鳥光の回廊」でもオープニングイベントにおいて、1400年記念の光のバトンタッチを行います。ろうそくのやさしい光に誘われて村内各地を巡ってみてはどうでしょうか？

竹内街道・横大路 難波から飛鳥へ日本最古の官道「大道」1400年活性化実行委員会

大阪府と奈良県を東西に結ぶ竹内街道・横大路（よこおおじ）は、「日本書紀」の推古天皇21年（613年）の条に「難波（なにわ）より京（飛鳥）に至る大道（おおじ）を置く」と記された「大道」のルートと重なることから、日本最古の官道と呼ばれています。

「大道」が敷設されてから、平成25年（2013年）に1400年の節目を迎えることを契機として、府県を越えて大道沿線の10市町村（大阪市・堺市・松原市・羽曳野市・太子町・葛城市・大和高田市・橿原市・桜井市・明日香村）と大阪府、奈良県の首長などが参集し、「竹内街道・横大路 難波から飛鳥へ日本最古の官道「大道」1400年活性化実行委員会」を発足して、連携しながら周辺地域の魅力を再発掘し、街道の魅力を高め、地域活性化等に繋げる取り組みを進めています。

文責：竹内街道・横大路（大道）1400年活性化実行委員会